

東京 肝臓のひろば

令和3年(2021年)6月号 **第242号**

特定非営利活動法人 **東京肝臓友の会**

〒161-0033 東京都新宿区下落合4-27-5-201
電話 (03) 5982-2150 振替 00120-6-40564
FAX (03) 5982-2151 口座名 東京肝臓友の会
<http://www.tokankai.com>



飛鳥山公園のSL —東京都北区— 絵・故山高定三

東京肝臓友の会、会員のみなさまへ

事務局長 米澤 敦子

東京肝臓友の会会員のみなさま、お元気ですか。

昨年の「東京肝臓のひろば」6月号で、「コロナのために医療講演会や相談会が開催できず、皆さんに物足りない思いをさせてしまうことになることを残念に思う。もう少し待ってください。」とお伝えしました。昨年の今頃は、まさかこのような状態が1年以上も続くとは考えもせず、1年経てばまたもとのように活動を再開できると思っていました。この文を書いているのは6月1日、緊急事態宣言のさなかです。自粛生活がまだ長く続いていますね。いつまで続くのか、先が見えない不安で押しつぶされそうになっているところにワクチンが登場しました。すでに接種が終わっている方もたくさんおられるのではないのでしょうか。東京肝臓友の会には新型コロナワクチンに関する相談が何件もきています。病院にも問い合わせの電話が殺到しているようです。「自分は肝臓病だがワクチンを接種できるか」という内容です。B型肝炎や自己免疫性肝疾患で薬を服用していると、接種によって何か影響があるのではないか、という不安は皆さんお持ちのようです。6月11日に放送したラジオNIKKEI「大人のラヂオ」で長崎医療センターの八橋弘先生は、腹水など症状のある肝硬変でない限り接種できます、とおっしゃっていました。(番組はオンデマンドで聴取可能です。もちろん主治医にもご相談ください。)

皆さんに会えるのがいつになるのかまだわかりません。でもワクチン接種が始まって、少しずつその日が近づいてきていると実感しています。もう少しお待ちください。



東京肝臓友の会

火 木 金

なんでも電話相談

東京肝臓友の会では、みなさんからの電話による相談をお受けしています。こんな時期なので、なんにも相談はないけど誰とでもいいからおしゃべりしたい、という方も大歓迎です。

もちろん、コロナのこと、ワクチンのこと、お薬のこと、治療のこと、日常生活のこと、肝炎患者だけが持つ悩み、同病者でなければ共有できない思いなどもぜひお聞かせください。

- 曜日・時間：火、木、金 10:00～16:00
- 相談員：B型肝炎、C型肝炎、自己免疫性肝疾患の治療経験者
- 電話番号：**03-5982-2150**

もくじ | Index

東京肝臓のひろば 242

2 会員のみなさんへ～なんでも電話相談

3 「肝臓がんの新しい治療について」

(1月放送の「大人のラヂオ」から)

千葉大学医学部付属病院 消化器内科 教授 加藤直也 先生

24 PBC・AIH・PSC通信

25 ジコメン・メディカル・シンヤク寄稿

帝京大学病院 田中 篤 先生

27 東京肝臓友の会 活動日誌 (4月・5月)

28 〈情報BOX〉同病者による面談相談ごあんない

ラジオNIKKEI「大人のラヂオ」

2021年1月8日放送

※1月8日現在の内容になります。ご了承ください。



肝臓がんの 新しい治療について



【ラジオNIKKEI第1】

- 第2金曜日 11:35 ~ 12:30
- 第3月曜日 21:30 ~ 22:25 (再放送)

ゲ ス ト

千葉大学医学部付属病院 消化器内科 教授

加藤 直也 先生

米澤 千葉大学医学部付属病院 消化器内科教授の加藤直也先生をゲストにお迎えしてお送りします。加藤先生は2回目のご出演ということになります。よろしくお願ひします。

加藤 こちらこそよろしくお願ひします。

米澤 前回お出でいただいたのは2017年9月ということ、3年ちよつと前です。

加藤 ああ、もう3年ですか。この場所もはつきり覚えていきます。

米澤 そのときも肝臓がんのお話をしていただきました。ご出演後の反響など、ありましたか。

加藤 聴いてくださった患者さんもありますし、いまはネット

配信もあるので、あとから聴いてくれている方もいらして、そうやって「聴きました」と声をかけられると、ちよつとうれいいですね。

米澤 そうですね。先生は患者をたくさんお持ちだと思ひますので、ぜひ番組の宣伝もしていただきたいと思います(笑)。

3年前に出演していただきましたが、あらためて加藤先生のプロフィールを紹介させていただきます。

東京都のご出身で1986年、千葉大学医学部を卒業後、千葉大学第一内科、国立がんセンター研究所、東京大学医学部研究所准教授等を経て、現在千葉大学医学部教授に就任されておられます。

ご専門はウイルス肝炎と肝がんの臨床。趣味は食べ歩き、旅行、サッカー観戦ということで

す。これは3年前に伺った内容ですが、いまは旅行などはなかなか難しい状態ですね。

新型コロナウイルス 感染症

米澤 さて、今日のテーマの「肝臓がんの治療」に入る前に、加藤先生に新型コロナウイルスについても伺いたいと思います。千葉大付属病院はコロナ患者の受け入れもされておられるんですよね。

加藤 そうですね。うちは千葉県のコロナのフェーズがフェーズ3の段階で、20人まで受け入れるということですが、現在は実際に15人くらいの方が常時入っているという感じですか。ICUのベッド4床は

重症に当てられますけど、これは満床の状態です。ところが千葉の医療研がフェーズ4になると、そうなるかと千葉大は20床までと言っていたのを、今度は60床まで受け入れなければいけなくなります。完全に大学もフェーズ4体制に移行するために、いまはまるまる1つ病棟を空けているところ

です。1病棟46床ありますが、その病棟をまる2つ空けて、コロナの患者さんをお引き受けするという状態です。

米澤 空けるといのは、既にそこに入院されている患者さんはどうなりますか？

加藤 別の病棟に移つてもらって、なんとかその1病棟をまるまる空けるといこと

です。米澤 それは大変ですね。そうするとメディアでもいま叫

ばれている「医療機関の逼迫」ということを、先生は実感されているんですね。

加藤 そうですね。呼吸器がつく、エクモ(ECMO)がつくという方はICUに入ります。ICUのベッド4床を確保していますが、満床が続いていきますから、千葉大では呼吸器やエクモをつけるような方を、大学病院が現時点では受け入れられないと。それ

くらいひっ迫しています。他の病院でコロナの治療をしていたけれども、悪くなったので大学病院で診てほしい、ということもけっこうあります。

米澤 別の病院から移られてくる患者さんが多くいらっしゃる。

加藤 はい。「軽症、中等症で診ていたけれど、重症になっ

たから診てほしい」と。

米澤 重症化するというのはいろいろな理由があるんですけど、薬もいくつか保険が適用になっていますが。

加藤 おっしゃるとおりで、いまはレムデシビルという、ハーボニーと同じギリアドがつくった薬で、やはり核酸アナログ製剤が保険適用になっています。

これは抗ウイルス効果が非常にいいです。実はアビガンも抗ウイルス効果はとてもいいんですね。ところがコロナの感染症で重症になる方は、前半はいゆる風邪と同じようなウイルス感染症。だけど後半は、劇症肺炎と言ったらいでしょうか。ウイルスはきつかけで、その後免疫反応が主体になった劇症肺炎なんです。

これは実はB型肝炎ウイルス

で、急性肝炎になった人の一部が劇症肝炎になるといふのと非常に似ているんですね。B型肝炎の方が劇症肝炎になると、結局感染した肝細胞ごと自分の免疫の力でドーンとやられていますから、だから肝臓がダメになるわけですけど、そのときにはウイルスはもうほとんどいないか、少なくともなっているか、もう悪さはしていないんですね。悪さをしているのは、免疫反応なんです。

コロナも同じで、初期はウイルス感染症の様相が主体ですけど、後半の重症化になると劇症肺炎みたいな、結局ウイルスの病気を越えて、今度は免疫が非常に暴れまくっているという状態なんですね。いま使用が認められている薬は、レムデシビルのような抗ウイルス薬と、デキサメタゾンというステロイド剤で免疫を抑える薬です。フェーズ

に合わせてうまく薬を使っていたかかないといけません。最初のウイルス感染症としての病態が主体のときに、ステロイド剤を使うと、ウイルスと闘う免疫を抑えることになりまますから、ウイルス感染症は悪くなるわけです。だから初期にはきちんとレムデシビルのような薬でウイルスを抑えなければいけない。ところが重症化して、肺が免疫でやられているような劇症肺炎のような状態では、今度は免疫を抑えなければいけないんです。ここではデキサメタゾンが活躍するはずなんです。

ところが初期にデキサメタゾンを使われてしまうと、かえってウイルスを増やすことになって、そのあとの重症化を招くんなんです。だからフェーズによってうまく使い分けないといけないんです。B型のウイルス肝炎をよく知ってい

る先生でしたら、コロナで重症肺炎になる構図というのが、なんとなくわかるんです。

米澤 診ていらっしゃる科の先生によっても違いますよね。

加藤 そのとおりなんです。ちよつと悪くなるとデキサメタゾンが使われるけれど、まだそのフェーズでは使っちゃいけないこともあるんです。だからもしかしたら肝臓専門医が診たほうがうまくいくかもしれません。コロナ感染初期に使うべきは、抗ウイルス薬なんですね。

アビガンが治験中ですけれど、簡単には使えないんです。本当は簡単に使える抗ウイルス薬がほしいところですね。論文上はハーボニーも、コロナに効くことになっているんです。

米澤 そうなんです。そのあたりはコロナの治療ガイドラインがまだ整備されていないということですよ。

加藤 そのとおりだと思います。

米澤 まだ1年くらいの期間です。なので、みなさん試行錯誤されています。状況だと思えますが、そういったことで重症化された方が千葉大のほうに運ばれてくるということですね。

加藤 そうです。

感染について

米澤 それは大変な状況だと思います。コロナは1年くらい経って、いろいろな新しいこともわかってきましたが、感染

同病者による面談相談

新薬のこと、治療のこと、なんでもお気軽にご相談ください

日時：**7月30日(金)** **8月30日(月)**

13時30分～16時30分(1人1時間)

場所：東京都障害者福祉会館1階 相談室

対象：東京都在住、在勤の方優先

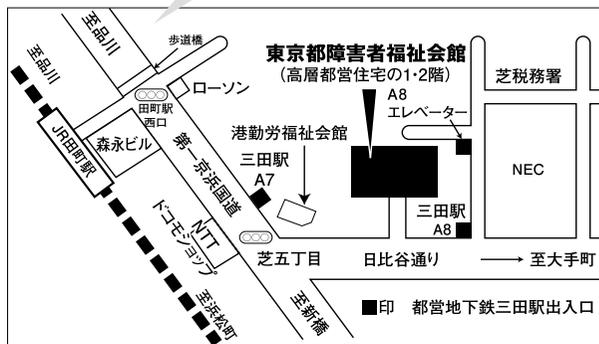
主催：東京都

相談料：無料(予約制)

相談員：米澤敦子(東京肝臓友の会 事務局長)

【交通案内】

- ◆JR「田町駅」西口徒歩5分
- ◆都営三田線「三田駅」出口A8 徒歩1分
- ◆都営浅草線「三田駅」出口A7 徒歩1分



申込方法

※電話でお申し込みください。

【申込先】 都障害者福祉会館相談係
〒108-0014 港区芝5-18-2
☎ 03(3455)6321

書籍のご紹介

第1章

肝臓病とうまくつき合っていくには？
教えて！ 肝臓病Q & A

第2章

肝臓病を悪化させないために 一肝臓を守る食事—
慢性肝炎～肝硬変代償期の人の食事
C型肝炎の人の食事(鉄制限)
肝硬変非代償期の人の食事
肝硬変非代償期で症状が重めの人の食事

スタッフ
おすすめ!

病態監修 加藤真三 慶應義塾大学看護医療学部教授
栄養指導・献立 鈴木和子 大木いづみ
慶應義塾大学病院食養管理室

東京肝臓友の会で販売しております。

【書籍代】1,540円 + 【送料】200円

お電話・FAXにてお申込みください。

電話：03-5982-2150 FAX：03-5982-2151

(火・木・金曜日・祝日を除く、10時～16時)



◆ウイルス性慢性肝炎、肝硬変(代償期・非代償期)の食事療法や具体的な献立をふんだんに紹介しています。

本会報掲載の記事を転載する場合はご連絡ください。

編集人・東京肝臓友の会 ○三(五九八二)二一五〇 千161-0033 東京都新宿区下落合四一七五二〇二〇
 発行人・障害者団体定期刊行物協会 ○三(六二七七)九六一一 千157-0072 東京都世田谷区祖師谷三一七二〇二二

頒布価格500円(会費に含まれている)